

令和元年 11 月 30 日

令和元年度前期（4 月～9 月）の主な事業報告

社会福祉法人おひさまと月の里

【社会福祉事業】

令和元年度（平成 31 年度）4 月 1 日（月）に入所式を行い、ひよこ組（0 歳児）7 名、はな組（1 歳児）17 名、にじ組（2 歳児）18 名、そら組（3 歳児）18 名、ほし組（4 歳児）20 名、つき組（5 歳児）18 名の合計 98 名の子ども達を迎え保育事業が始まりました。

入所式の後、保護者会総会に於いて職員紹介を行い、担任の発表やフリー保育士、保育補助の役割をお知らせしました。また、平成 31 年度の「保育目標」「個別計画」「保育要録」についての説明を行いました。苦情・要望に対する受付の窓口は主任で、解決責任者は所長であることを説明し、保護者の皆様のご協力とご理解をお願いしました。

4 月には「内科・歯科検診」を行い、医師の指導を基に保護者へ情報を伝え、担任や職員間でも情報の水平展開・共有化を行いました。また、全職員を 2 班に分けて多賀城消防署救命隊員による「救命救急の研修指導」を受けました。職員全員が AED を適切に使用できるよう受講し、万が一に備える学びの場となりました。

5 月は元号も平成から令和に変わりましたが、毎年恒例の近隣の五つの老人クラブの皆様と一緒に「お花や野菜を植えましょう会」を 5 月 16 日に実施し、楽しく交流することができました。

多賀城市交通指導隊の皆様から交通安全を学ぶ「交通教室」が開かれ、以上児を中心に交通ルールを守り、安全についての行動を学びました。5 月 31 日には「総合避難訓練」が行なわれ、火災時の避難、消防署への通報、消火の訓練を全児童・全職員参加の基に行い防火・防災・避難の大切さを学びました。

5 月から 6 月にかけて保護者との個別懇談会を開催し、家庭での子どもの様子や保育所での子どもの成長を伝え合ったり、保護者のニーズを引き出しながらコミュニケーション作りに務めました。

6 月 6 日は以上児の子ども達が楽しみにしていた「バス遠足」で、感性の森に行き、保護者が作ってくれた美味しいお弁当を食べて、たくさん遊んで、心に残る楽しい思い出づくりになったと思います。6 月 28 日には「プール開き」を行いました。今年は気候が良くなく、なかなかプールに入れる日が少なかったのですが、天気の良い日は元気に水遊びをして 8 月末まで楽しみました。そのうち 7 月 8 月に 3 回（3 日）は園庭を開放して、近隣のお子様（未満児）と保護者と水遊びを一緒に楽しんでもらいました。

7 月 20 日は夕方から「夏祭り夕涼み会」を開催し、多くの近隣の皆様や保護者の参加を頂き盛大に実施できました。

8 月 31 日は本年度 2 回目の「救命救急講習」を行い、9 月は 2 回目の「内科・歯科検診」を行いました。

9 月 13 日は日本古来の伝統を継承することを目的に「お月見団子づくり」を行い、日本文化について学びました。

前期の事業は計画通りに推移し、大きな事故・ケガもなく順調に経過しております。

後期も引き続き子ども達一人ひとりに寄り添った保育に務め、子どもの人権を尊重して伸び伸びと育つ姿を保護者と共に喜び合いたいと思います。